

# 第6回 日・ミャンマー 防災協働対話(2020.3)【結果概要】

国土交通省とミャンマー社会福祉救済復興省、農業畜産灌漑省、運輸通信省は、2020年3月、ネピドーで「第6回防災協働対話」を開催し、バゴー・シッタン川流域水資源管理マスタープラン(M/P)策定に向け、各機関の防災に関する取組状況や、M/P策定にあたっての課題等について議論しました。

- 1. 背景・目的**
  - ✓ 2014年3月に両国の大臣間で署名された覚書に基づき、毎年ワークショップ(WS)を開き、防災技術の展開を図っている。(ダム堆砂対策、等)
  - ✓ 第6回となる本年のWSは、前回のWS等での議論を通じ、昨年末に日本政府に対し要請が提出された「バゴー・シッタン川流域水資源管理マスタープラン策定」を題材に開催。
- 2. 日程・場所** 2020/3/5(木) 於:ネピドー
- 3. 参加者** 【日本】国土交通省 水局(河川計画課国際室 村瀬室長・古本調整官)、鍋坂JICA専門家、在ミャンマー大使館、JICAミャンマー事務所、(一社)国際建設技術協会、他  
【ミャンマー】ソー・アウン社会福祉・救済復興副大臣、農業畜産灌漑省、運輸通信省、他

ワークショップの様子 (左:ソー・アウン副大臣挨拶、右:鍋坂専門家発表)



バゴー川・シッタン川流域→



- ✓ バゴー・シッタン川流域水資源M/P策定にあたり、地域防災計画策定や気候変動に関する施策など現在の各機関の取組について情報共有が図られるとともに、M/Pに含まれるハード・ソフト対策の立案等において関係各省が協力して進めることを確認した。